



東京大学図書
3
663
1





世間も代氣貨市

明治三六年
九月十七日
講求

鶴つるのよく雲くもの昇のぼるる其その隣となりとて髪かみあふ

よりの鶴つるのよく天あまの翔たぎるるの羽う翅ばねあふなり

其身そのみ家業けぎやう小賢せうけんも助たすけらるる子こ代しろりりかなくして

拘こ辱じやく教けうのの心こころををよよく出いでで高たかおおのの利りを

得うるるのの家けれれもも代しろのの佛ぶつささつつががほほるる代しろ又

且かねねももたたるる又またもも代しろ年ねん功こうをを積つてて且かねねよよる

ままりり次つぎ年ねんままりりのの且かねねよよ成なるる我われとと抱かかるるままりりの

多岐舟之思を多岐舟之代の世に己が
勤より私欲と考ふ公けける者其の
果は多岐舟がけけ者無の代氣質其
多直し題号をせり吾人の人々多
無一人の思を呵ん免し終く

言保す成家秘法

作者

其蹟



世間之代氣質

一之巻

目録

第一 世の門を掛るに資候の業候

今世の世に天祥時目のなり親方

念候様の抄法将子候のなま

多岐舟の思を多岐舟の代に己が

才二 貞辰 我を折人參まきよるの親方身

表向より肉體のたぎらぬ茶湯乃を

夫後の中て糊ふぬむ勢田の忠命

古事子孫に骨を折るまがが智恵袋

才三 比ねの盛子といはれて夷後の穴倉

るの代刺押さふらるる家内のみ配

高子の思ふ形見いよして悔れ身を折

親う懐るか令浪毎日おけ廊道い

一 出世門関る掛る元英録の幸の種

夫士君又高けは氏たふ家来の働るにうてまを倉と元世小
知る幸多ふそ高人の代にわらう且ねと富きぬ又且ねを傷
すは善悪れつる至人の形とつらうを代に性根次第そく。或
家の方の行儀向く。も家れ控着けをを至辰に礼儀そこす。
是辰にたうく叶へり。町人の持と才ふをましくお家業にうて。或家
中片礼ぬる。且ね洞とか守ていそぐけをせもせも。毎儀ふ
つとむを元高ひたをたまをせかぬ。金ものうけてさわてうを。或辰を
なぞそち指とつて。至人を物と物といぬるも。高ひの精さ出せを
至辰に礼儀を改める事もあ。ま。内儀をどろさぐんを。或辰に
いさやうお町人の家の風俗。内儀をう教つて。大幸此を人と稱りや中

づつに金を借り。取替ひ仕つけ。たぬ。根性。一。おけ。の
 買金。仕出。利。仕。つけ。と。ま。り。換。親。方。の。け。評。公。の。書。も
 一。の。時。分。小。親。徳。小。難。依。と。け。一。生。首。と。お。け。と。つ。折。果。の。終。終
 以。金。を。安。く。お。け。仕。換。ひ。ま。り。せ。と。お。ま。せ。い。一。つ。見。け。つ。
 お。ま。り。の。稀。め。と。き。考。へ。つ。き。代。の。あ。り。ま。り。と。つ。か。あ。る。
 代。の。表。示。の。ひ。張。て。ま。り。重。小。徳。と。け。借。も。お。ま。り。ま。せ。ぬ。
 律。義。の。考。へ。の。事。も。あ。り。ま。り。ま。り。と。高。い。を。考。へ。ぬ。お。ま。り。の。目。は。あ。り。と。の
 感。状。も。あ。り。換。も。の。の。毒。も。ま。り。ま。り。と。ま。り。ま。り。と。ま。り。ま。り。
 働。き。も。あ。り。と。つ。ま。り。ま。り。ま。り。代。の。お。ま。り。も。あ。り。ま。り。ま。り。も。
 お。ま。り。の。首。と。の。の。借。も。も。あ。り。ま。り。ま。り。一。生。女。夫。に。と。つ。か。
 と。つ。ま。り。の。又。大。業。の。代。の。人。の。あ。り。ま。り。と。つ。高。い。も。あ。り。ま。り。と。
 む。け。と。つ。ま。り。ま。り。ま。り。と。つ。生。け。た。大。業。の。考。へ。の。事。も。あ。り。ま。り。ま。り。

代。列。と。つ。ま。り。小。金。も。あ。り。ま。り。ま。り。ま。り。と。つ。ま。り。ま。り。ま。り。
 代。の。の。稀。め。と。き。考。へ。つ。き。代。の。あ。り。ま。り。ま。り。と。つ。ま。り。ま。り。ま。り。
 と。つ。ま。り。の。首。と。の。の。借。も。も。あ。り。ま。り。ま。り。一。生。女。夫。に。と。つ。か。
 と。つ。ま。り。の。又。大。業。の。代。の。人。の。あ。り。ま。り。と。つ。高。い。も。あ。り。ま。り。と。
 む。け。と。つ。ま。り。ま。り。ま。り。と。つ。生。け。た。大。業。の。考。へ。の。事。も。あ。り。ま。り。ま。り。



こゝに。其のり。命して。此の業は。積た。なる。ゆゑ。又。其の。せ。し。ま。し。
 九つ。あ。ひ。被。ま。布。子。を。ほ。し。て。ゆ。ち。あ。ら。ん。ご。う。一。は。た。の。女。科。律。の。つ。う。が。
 く。寺。内。に。文。庫。を。な。つ。う。か。た。た。ひ。お。も。て。た。業。解。其。中。に。新。判。士。
 と。名。つ。け。お。存。指。ま。つ。せ。業。せ。け。の。み。討。つ。く。あ。務。を。お。し。め。る。あ。ら。は。判。士。
 者。の。業。子。お。お。げ。な。ご。つ。く。を。と。初。め。お。も。つ。ま。さ。の。ま。つ。が。お。あ。る。べ。し。
 毎。日。小。判。形。の。業。子。を。た。ま。を。お。つ。の。び。い。ま。め。た。い。し。お。も。つ。の。判。ひ。を。
 か。こ。お。も。つ。の。ま。ま。と。ま。し。ま。し。ま。し。ま。し。ま。し。ま。し。ま。し。ま。し。ま。し。
 此。業。の。代。と。し。梅。の。乃。ぞ。ふ。ま。ご。う。と。ま。ご。う。と。ま。ご。う。と。ま。ご。う。と。
 十。年。き。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。
 つ。い。て。は。案。中。に。株。も。あ。ら。ぬ。業。子。に。つ。け。て。た。と。梅。の。乃。ぞ。ふ。ま。ご。う。と。
 其。指。を。を。き。れ。仕。出。し。の。限。わ。ま。し。き。代。と。抱。き。廣。く。商。ひ。ま。し。の。務。も。た。ま。
 ろ。に。仕。出。せ。し。其。指。を。け。し。の。あ。ら。の。新。判。士。の。業。の。あ。ら。の。判。士。の。業。の。あ。

業。の。自。分。に。仕。出。る。あ。ら。と。法。主。一。何。柄。の。業。の。清。潔。な。と。の。後。者。と。い。は。し。て。
 若。し。の。後。者。助。は。え。の。や。と。ま。の。ぢ。く。あ。ら。の。乃。ぞ。ふ。ま。ご。う。と。ま。ご。う。と。ま。ご。う。と。
 わ。ご。う。と。ま。ご。う。と。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。
 肩。に。被。ま。つ。ち。布。子。を。け。し。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。
 つ。い。て。ゆ。ち。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。
 や。と。ま。ご。う。と。ま。ご。う。と。ま。ご。う。と。ま。ご。う。と。ま。ご。う。と。ま。ご。う。と。ま。ご。う。と。
 目。を。赤。文。指。せ。て。ゆ。ち。の。と。ま。ご。う。と。ま。ご。う。と。ま。ご。う。と。ま。ご。う。と。ま。ご。う。と。
 と。業。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。
 業。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。
 業。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。
 業。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。
 業。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。
 業。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。
 業。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。あ。ら。の。

井代頭書卷一

事金介目のわりぬきのもの。物つてめがけつひやうとふふ。ひふふ病と續小
病。終業者とは業社者との二つ。本村の病とむむ病。同功あり。
本村の病とむむ病。本村の病とむむ病。同功あり。
本村の病とむむ病。本村の病とむむ病。同功あり。
本村の病とむむ病。本村の病とむむ病。同功あり。
本村の病とむむ病。本村の病とむむ病。同功あり。
本村の病とむむ病。本村の病とむむ病。同功あり。
本村の病とむむ病。本村の病とむむ病。同功あり。
本村の病とむむ病。本村の病とむむ病。同功あり。
本村の病とむむ病。本村の病とむむ病。同功あり。
本村の病とむむ病。本村の病とむむ病。同功あり。

物もまらさ。二夜二夜焼たつ。本村の病とむむ病。同功あり。
本村の病とむむ病。本村の病とむむ病。同功あり。
本村の病とむむ病。本村の病とむむ病。同功あり。
本村の病とむむ病。本村の病とむむ病。同功あり。
本村の病とむむ病。本村の病とむむ病。同功あり。
本村の病とむむ病。本村の病とむむ病。同功あり。
本村の病とむむ病。本村の病とむむ病。同功あり。
本村の病とむむ病。本村の病とむむ病。同功あり。
本村の病とむむ病。本村の病とむむ病。同功あり。
本村の病とむむ病。本村の病とむむ病。同功あり。



全報は利重も。あまがり判りあす。河津のいふ要國は事もたはぬ。毎るうと
目撃にさうおそれ。素直に申す。あまがり判りあす。河津のいふ要國は事もたはぬ。
是れを幸んたる。後継はあまがり判りあす。河津のいふ要國は事もたはぬ。
ついでに。あまがり判りあす。河津のいふ要國は事もたはぬ。
感への。あまがり判りあす。河津のいふ要國は事もたはぬ。
光り。あまがり判りあす。河津のいふ要國は事もたはぬ。
傍つて。あまがり判りあす。河津のいふ要國は事もたはぬ。
月。あまがり判りあす。河津のいふ要國は事もたはぬ。
今日。あまがり判りあす。河津のいふ要國は事もたはぬ。
傍。あまがり判りあす。河津のいふ要國は事もたはぬ。
産。あまがり判りあす。河津のいふ要國は事もたはぬ。
ま。あまがり判りあす。河津のいふ要國は事もたはぬ。

勢。あまがり判りあす。河津のいふ要國は事もたはぬ。
中。あまがり判りあす。河津のいふ要國は事もたはぬ。
生。あまがり判りあす。河津のいふ要國は事もたはぬ。
類。あまがり判りあす。河津のいふ要國は事もたはぬ。
と。あまがり判りあす。河津のいふ要國は事もたはぬ。
く。あまがり判りあす。河津のいふ要國は事もたはぬ。
希。あまがり判りあす。河津のいふ要國は事もたはぬ。
ま。あまがり判りあす。河津のいふ要國は事もたはぬ。
手。あまがり判りあす。河津のいふ要國は事もたはぬ。
破。あまがり判りあす。河津のいふ要國は事もたはぬ。
の。あまがり判りあす。河津のいふ要國は事もたはぬ。
也。あまがり判りあす。河津のいふ要國は事もたはぬ。
其。あまがり判りあす。河津のいふ要國は事もたはぬ。
る。あまがり判りあす。河津のいふ要國は事もたはぬ。
と。あまがり判りあす。河津のいふ要國は事もたはぬ。

うけひ大長。牙^はあを^まを^らに^まを^らと^りて^おね^がり^て親^がる^をと^りて^持り^がる^をと^りて^志す^るを^とり^て一^年
中^際で^おね^がり^て親^がる^をと^りて^志す^るを^とり^て一^年
た^らし^てを^とり^て志^する^をと^りて^志す^るを^とり^て一^年
た^らし^てを^とり^て志^する^をと^りて^志す^るを^とり^て一^年
た^らし^てを^とり^て志^する^をと^りて^志す^るを^とり^て一^年
た^らし^てを^とり^て志^する^をと^りて^志す^るを^とり^て一^年
た^らし^てを^とり^て志^する^をと^りて^志す^るを^とり^て一^年
た^らし^てを^とり^て志^する^をと^りて^志す^るを^とり^て一^年
た^らし^てを^とり^て志^する^をと^りて^志す^るを^とり^て一^年
た^らし^てを^とり^て志^する^をと^りて^志す^るを^とり^て一^年

西 1126 入 37 正 在

